

気象遭難対策講習会2019 レポート

2019/7/9(火曜日)、名古屋市/愛知県スポーツ会館において、気象遭難対策講習会2019を開催しました。参加者は、総勢22名(愛知岳連会員:10名、愛知岳連会員外:8名、講師・役員など:4名)でした。講師は、大矢康裕氏(山岳気象予報士、ウェザーフロンティア所属、デンソー山岳部所属)に務めていただきました。



第一部 自己紹介とウェザーフロンティア東海(WFT)の活動
自己紹介、およびウェザーフロンティア東海のメンバー紹介 & 2018活動内容についてお話していただきました。



第二部 気象情報の活用と実演
講習会会場においてインターネットで気象庁HPに繋ぎ
その使い方と活用法について丁寧に解説していただきました。



第三部 過去の気象遭難事例に学ぶ
白馬岳/大雪渓・雪崩事故(2013/4)と西穂高岳・落雷
遭難事故(1967)をとりあげ、当時の気象と現場の状況など
について詳しく教えていただきました。
また、雷に遭った時の対処法について学ぶことができました。

第四部 遭難事故を防ぐための行動シミュレーション
九州大崩山山系・木内山岳での遭難事例をとりあげ
①登山途中で注意すべきこと②事故後の処置 見習うべきこと
③事故にあわないようにするためににはの3項目について
3グループに分かれてグループ討議をおこなったのち
発表と意見交換をおこないました。
最後に、講師から回答例と解説をしていただきました。

遭難事故を他人事と思わず、自分事(自分ならば、どう対処するか)と考えることが、防災への第一歩です。気象遭難は、気象の知識もさることながら、判断力・山行技術・基礎体力などが要因となっていることが多い。日ごろから山で事故に遭わないように心がけて、登山を愉しみましょう。

報告者:愛知岳連・常任理事/岩瀬